

必ずお守りください。 **安全上のご注意** ▶

警告

<アルカリ電池について>

- (1)ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2)万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

<梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

液晶パネルについて

見る方向により表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。

温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。

温度が高くなるとパネルの色が黒くなり、判読できなくなることがあります。

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分注意してください。

万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

皮膚に付着した場合
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。

目に入った場合
きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。

飲み込んだ場合
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

注意

<電池について>

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- (1)⊕⊖を正しく入れてください。
- (2)製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて指定の新電池と交換してください。また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液漏れ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (3)この電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
- (4)電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
- (5)直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
- (6)時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。やわらかい布などでクリーニングしてください。
- (7)添付の電池は工場出荷時より付けられています。時計の電池寿命は製品仕様の表示より短いことがあります。

<時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

製品仕様

- 精度：平均月差±20秒
(電波受信による時刻修正を行わない場合)
(気温5 から35 で使用した場合)
- 表示精度：±1秒(時分針は±3度)
(電波受信による時刻修正を行なった直後)
- 使用温度範囲：-10 ~ +50
(ただし液晶表示判読可能温度範囲0 ~ +40)
- 使用電池：単3アルカリ乾電池 2個(JIS規格LR6)
- 電池寿命：約1年
(アラームを1日につき30秒間使用した場合)
- 電波受信機能：自動受信(1日8回)
(受信から次の受信まではクオ・ツの精度で動いています)
手動受信(強制受信)
40kHz, 60kHzのいずれか受信しやすい電波を自動受信します
- アラーム：約5分間スヌーズ
約5分間オートストップ
(スヌーズは何回でも繰り返すことができます)

- 液晶表示：アラーム時刻表示
- 時刻合せ機能：電波受信による自動セットまたは手動セット
光センサーによる自動秒針止機能：暗くなると秒針が「12時の位置」で停止します。
- 電池切れ予告機能：秒針が「12時の位置」で停止して、電池交換時期をお知らせします。

上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

保証・アフターサービス

この時計はメーカー保証です。
保証の内容については別添の保証書をご覧ください。
尚、保証書は日本国内のみ有効です。
また、アフターサービスも海外ではできません。

保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買上店がお預かりしメーカーが無料で修理いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。

保証期間中でも無料修理の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。

この時計の修理用部品は、3年間保有しています。
この期間は原則として修理が可能です。
修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。
修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買上店とよくご相談ください。

修理のとき、部品・その他の付属品は、-部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。

保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛り費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買上店にお持込みいただけます。修理を依頼されるときはお買上店にご持参ください。ご不明の点はお客様センターにお問い合わせください。

SEIKO

目ざまし時計

取扱説明書

電波クロック

このたびはセイコークロック商品をお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願い申し上げます。なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様センターにお問い合わせください。

(例：AM、PW、KG など)

お客様センター  0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社

Ⓕ

説明書番号 DKR-078J

故障かなと思ったときには

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。なお電池は買い置き品でなく、新規購入品をご使用ください。

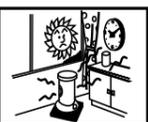
症状	考えられる原因	処置
針が動かない	・電池が入っていない。 ・電池が正しい向きで入っていない。 ・電池端子や接片が汚れている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。 ・電池端子や接片の表面を拭いてください。また、電池を入れて2-3回まわして、リセットボタンを押してください。
針が不規則に動く	・強制受信中または時刻修正中である。	・受信終了後、通常の運針に戻ります。
秒針が「12時の位置」で停止している	・秒針停止機能が動作している。 ・電池が古くなっている。 (裏面「 その他の機能 」参照) ・自動受信中である。	・室内を明るくすると秒針が動き始めます。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。 ・受信が終了すると秒針が動き始めます。
スイッチ操作が効かない	・受信に成功し、時刻修正中である。 ・リセット後、受信動作中である。	・時刻修正動作が終了してから、再度スイッチ操作をしてください。
時刻が合っていない	・受信が成功していない。 ・電池が古くなっている。 ・きちんとリセットされていない。	・裏面「電波が受信できなかった場合」をお読みになり、再度受信させてください。 ・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。 ・確実にリセットボタンを押してください。
アラームの音が鳴らない	・アラームスイッチがOFFになっている。 ・静電気等による誤動作	・アラームスイッチをONにしてください。 ・電池を入れなおしてからリセットボタンを押してください。
アラーム時刻になったら針が止まっていた	・電池の容量が少なくなっている。	・指定の新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、リセットボタンを押してください。

必ずお読みになってからご使用ください。 使用場所・お手入れ

使用場所について

下記のような場所では使わないでください。

機械や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。



暑い場所(+50以上)

温度が+50(50度)以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。

温度が-10(氷点下10度)以下になる所。

〔プラスチック部品や電池の劣化が起きることがあります。〕



寒い場所(-10以下)

塵、埃の多い所。
〔空気中に舞い上がったごみが歯車や接点に挟まって時計が止まったり、音が鳴らなくなることがあります。〕

大型テレビ・スピーカーのそばや、強い磁気のある所。

〔磁力の影響で進み、遅れを生じたり、時計が止まることがあります。〕



振動の激しい場所

浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。

振動のある所。不安定な所。

工場、台所など多くの油を使用する所。
〔霧状になった油分が機械の歯車等に付着し、時計が止まることがあります。〕



湿気の多い場所

ビニール系素材の壁や敷物等の上。
壁や敷物および時計を汚したり傷めることがあります。

木枠の時計の場合には、空気が非常に乾燥した状態や湿気の多い状態が続くと、枠が傷むことがあります。また、40度以上の高温になりますと、接合部のフクレやハガレが起きることがあります。

電波ノイズを発生させるものの近く。
高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。

工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など電波障害の起きる所。
乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)

スチール机等の金属製の家具の上や近く、金属製の壁の近く。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、2・3年に一度の点検・調整(有料)をおすすめいたします。販売店にご相談ください。

ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

プラスチック枠の時計の場合

枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。

よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾がきしてください。

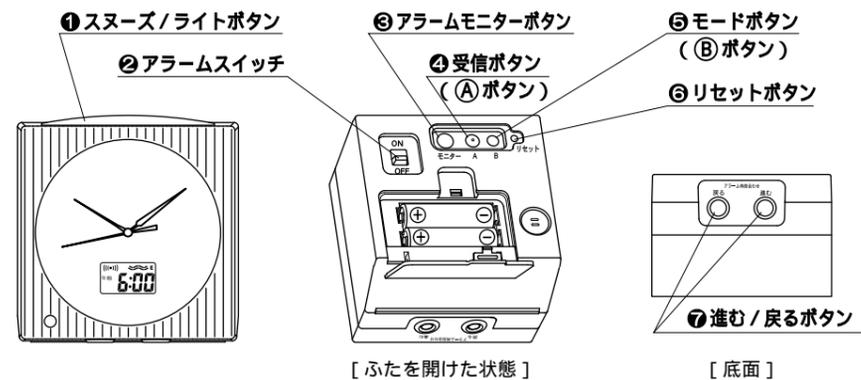
木枠・金属枠の時計の場合

よごれやほこりをとるときは、やわらかい布で乾がきしてください。

お客様が分解しますと、修正不可能になる場合やけがの恐れがあり大変危険です。また保証の対象外となりますのでご注意ください。

ご使用方法

操作部 時計のデザインにより電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。



- ①スヌーズ/ライトボタン**
・アラームが鳴っているときに押しするとアラームが止まり、約5分後に再びアラームが鳴ります。
・約5秒間ライトが点灯します。
- ②アラームスイッチ**
・アラームON/OFFの切り替えができます。
- ③アラームモニターボタン**
・押し続けている間、時刻に関係なくアラームが鳴ります。
- ④受信ボタン (Aボタン)**
・電波を強制的に受信するときに使用します。
- ⑤モードボタン (Bボタン)**
・現在時刻を手動で合わせるときに使用します。
- ⑥リセットボタン**
・電池交換後は必ず押してください。
- ⑦進む/戻るボタン**
・アラーム時刻または現在時刻を合わせるときに使用します。

液晶表示部



ご使用の前に付属品をご確認ください。

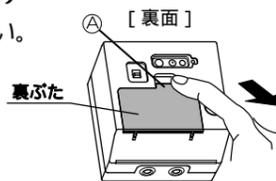
単3アルカリ乾電池 2個 取扱説明書(本書) 1枚
保証書 1枚

ご使用方法

ご使用の前に、表示部の透明シールをゆっくりはがしてください。

1. 電池を入れてください (単3アルカリ乾電池2個)

- (A)部に指をかけ、手前に引いて裏ふたを開けてください。
電池を入れてください。
⊕/⊖をまちがえないように注意してください。



2. リセットボタンを押してください

リセットボタンを先端の細いもので押してください。
受信を開始し、自動的に現在時刻に合わせます。

秒針が「12時の位置」で停止後、時分針が動き出し、下記時刻のいずれかで一時停止し、電波受信を開始します。

(1:50, 3:10, 5:50, 6:10, 8:30, 9:10, 11:10, 12:10)

受信中(最長約20分間)は受信マーク が信号に応じて表示されます。(上記「液晶表示部」をご覧ください。)

受信に成功した場合
受信マーク が表示され、液晶部が現在時刻になります。その後自動的に針を現在時刻に合わせます。
針が合った後、液晶部はアラーム時刻表示に切り替わります。

受信できなかった場合
受信マーク は表示されず、ただちに針が動き出します。このとき時刻修正は行いません。
右記「電波が受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時分針を現在時刻に合わせてください。

注) 電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。

3. 時計を設置してください

本機を使用したい場所に置いてください。この際、窓際などできるだけ電波を受信しやすい場所に置いてください。



4. アラームを鳴らすには

進む/戻るボタンを押してアラーム時刻を合わせてください。

進む/戻るボタンを押すとアラーム時刻が点滅し、アラーム時刻合わせの状態になります。約5秒間押されない状態が続くと、自動的にアラーム時刻が確定し「通常表示」に戻ります。

アラームスイッチをONにしてください。
アラーム時刻になるとアラームが鳴ります。

アラームマーク が表示されます。

アラームの鳴り出しから約5秒間はライトが点灯します。



5. アラームを止めるには

アラームを止めるには2通りの方法があります。

アラームスイッチをOFFにして止める
アラームは完全に止まります。

アラームマーク は表示されません。

スヌーズ/ライトボタンを押して止める
アラームが止まり、約5分後に再び鳴り出します。(スヌーズ機能)

スヌーズ中はアラームマーク が点滅します。

スヌーズ機能は何度でも繰り返すことができます。

アラームは約5分間で自動的に止まります。(オートストップ機能)

この場合、アラームマーク は表示されたままとなり、翌日のアラーム時刻に再びアラームが鳴ります。

その他の機能

自動受信について

毎日8回、自動で電波受信を行ないます。
受信に成功すると現在表示している時刻を修正します。

受信中(最長約20分間)は針が不規則な動きをすることがあります。

秒針：12時の位置で停止

分針：約30秒毎に運針

電波が受信できなかった場合

1. 電波を強制的に受信して時刻を合わせてください

受信ボタン(Aボタン)を受信マーク が表示されるまで(約2秒)押し続けてください。針が停止し受信を開始します。受信に要する時間は、最長約20分間です。

受信中は針が停止します。

受信できなかった場合、針は元の時刻に戻ります。場所を変えてもう一度受信させてください。

詳しくは右記「電波クロックについて」をご覧ください。

また、夜間は昼間にくらべて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻を合わせることができます

電波を受信できない場合は、手動で時刻を合わせることができます。

モードボタン(Bボタン)を秒針が早送りするまで(約2秒)押し続けてください。秒針が「12時の位置」で停止し、アラーム時刻表示が現在時刻表示に切り替わります。

時刻を合わせている間は、針は停止しています。

進む/戻るボタンで時刻を合わせてください。

進む/戻るボタンを押し続けている間は早送りします。

時刻を変更した場合は、受信マーク は表示されません。



【通常表示】
普段はこの表示でお使いください。



【時刻合わせ表示】
進む/戻るボタンで時刻を合わせてください。

時刻合わせが終了したらモードボタン(Bボタン)を押してください。

秒針が動きはじめ、時分針を自動的に修正します。

(この間は現在時刻を液晶部に表示します。)

約5分以上ボタンが押されなかった場合は、自動的に通常表示に戻ります。

時刻を変更している間は、アラーム時刻になってもアラームは鳴りません。

電波クロックについて

電波時計/電波修正機能とは

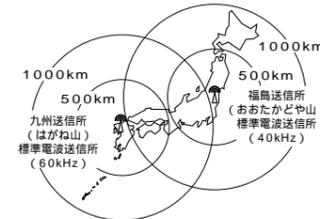
正確な時刻およびカレンダー・情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

標準電波とは

情報通信研究機構(NICT)が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『セシウム原子時計』によるものです。

電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所(東・西2ヶ所)からおおむね1000km~1200kmです。この製品は40kHz(東・福島送信所)、60kHz(西・九州送信所)のいずれかを受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



ご注意

電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できない事があります。このような時は、場所を変えてお使いください。

電波を受信できない場合は、内蔵クオーツの精度で計時します。

標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。

(ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>)

使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ビルの中、ビルの谷間、地下。
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 乗り物の中(自動車、電車、飛行機など)
- その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- スチール机等の金属製の家具の上や近く。



試し鳴らしについて

アラームモニターボタンを押し続けている間、時刻に関係なくアラームが鳴ります。

ライトについて

スヌーズ/ライトボタンを押すと、ライトが約5秒間点灯します。

光センサーによる自動秒針停止機能について

光センサーにより明るさを検出し、暗くなると秒針を「12時の位置」まで早送りし、停止します。

明るくなると正しい時刻まで秒針を早送りし、その後通常運針に戻ります。

照明をつけている場合でも、時計周辺の明るさにより秒針が停止することがあります。

秒針が停止している間でも、時分針は正しい時刻を表示しています。

電池切れ予告機能について

この時計には電池切れ予告機能がついています。

電池の残量が少なくなると、明るいときでも秒針が「12時の位置」で停止し、電池交換時期がきたことをお知らせします。新しい電池に交換してください。

秒針が停止している間でも、時分針は電池がなくなるまで動き続けます。

自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。

(誤受信の防止や、設定時刻をずらしてお使いになりたい場合などにご使用ください。)

電池を入れてリセットボタンを押した後に、受信ボタン(Aボタン)を受信マーク が消えるまで(約7秒)押し続けてください。

秒針が動き出したら、左記「電波が受信できなかった場合 2.手動で時刻を合わせることができます」にしたがって時刻を合わせてください。

この機能を設定した後も受信ボタン(Aボタン)を受信マーク が表示されるまで(約2秒)押し続けると強制受信を開始しますが、その後自動受信はしません。

この機能を解除するには、リセットボタンを押してください。

注) 通常ご使用の状態でも自動受信を止めるには、受信ボタン(Aボタン)を受信マーク が点滅し、その後消えるまで(約7秒)押し続けてください。

ご注意

この製品には、マイコンが内蔵されています。静電気等により誤作動することがありますが、故障ではありません。裏面「故障かなと思ったときには」をご覧ください。この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。

電池交換後は、必ずリセットボタンを押してください。